

六本木三丁目児童遊園周辺地区 環境整備懇談会ニュース

第2号

令和4年2月発行 港区

向春の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より港区のまちづくりへご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。

港区では「六本木三丁目児童遊園周辺地区」の治安の改善を図るとともに、安全・安心な環境整備と新たなにぎわいの創出を目指し、検討を行っています。

そこで、去る2月3日に地元の皆様のご意見を伺う「六本木三丁目児童遊園周辺地区環境整備懇談会（以下、懇談会）」の第2回を開催しました。

本紙では、懇談会のご報告と当日いただいた主なご意見をご紹介します。

今後も懇談会ニュースにて、環境整備に向けた検討状況をご報告して参りますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

1 第2回懇談会開催のご報告

第2回懇談会は、「公衆トイレの扱い方と再整備イメージについて」というテーマを基に、公衆トイレの扱い方と再整備イメージ（案）についてご議論いただきました。

当日はたくさんの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。裏面にて、当日いただいた主なご意見をご紹介します。

次回懇談会は今年度最後の開催として、これまでいただいたご意見を踏まえ、環境整備の方向性についての取りまとめを行いたいと考えております。

開催概要

- 日時：令和4年2月3日（木）
18：30～20：30
- 場所：麻布区民協働スペース
- 出席者：9名（オブザーバー2名）



公衆トイレの存続を想定した場合の参考事例



公衆トイレの廃止を想定した場合の当地区周辺のトイレの位置



2 当日の主なご意見



1. 公衆トイレの廃止・存続について

- ◆現在の公衆トイレは4K（汚い、暗い、臭い、怖い）であり、周辺や沿道店舗内にもトイレはあるため、犯罪の温床となるような**現在のトイレは無くしてほしい**。しかし、**4Kが解消され、時代に即した公衆トイレにつくり変えるのであれば、トイレはあっても良い**。ただし、**24時間利用可能とするべきではない**。
- ◆まずは対象地区の**4Kを解消することが優先**である。**現在の公衆トイレを無くすなどして一旦安全な状況をつくってから**、この空間に必要なものを公衆トイレも含めて**一つ一つ検討**していけば良い。
- ◆**児童遊園の再整備の検討より先に、まずは公衆トイレを安全で綺麗なものに整備**するなどして、人が集まり、誰もが安全に過ごせて、沿道のビルに良いテナントが入ってくるような**良好な空間をつくる必要がある**。
- ◆**公衆トイレを廃止**したとしても、イベントをする際には**仮設トイレ**を設置すれば良く、将来的に賑わい空間が実現されれば**店舗がトイレを提供**することも考えられる。
- ◆公衆トイレの利用マナーが悪い人も多いが、近隣住民のことも考えて、**安全で綺麗で使いやすい公衆トイレを目指してほしい**。
- ◆現在の公衆トイレの問題点を捉えて、その問題点の改善策を考えることが必要。**安全で誰もが使える良いトイレをつくる方向に進んでほしい**。
- ◆「児童遊園」とするのであれば、大人の感覚で公衆トイレの廃止や存続を考えるのではなく、**子供達にとって良い場所をつくるということを考え方のベース**とすべき。
- ◆周辺の整備も含めて、**デザイン等を考慮した公衆トイレを新たに作り直すのであれば良い**。再整備により人が集まる空間となるのであれば、それが地区の環境を変えるきっかけにもなる。
- ◆公衆トイレはあった方が良い。多少費用をかけてでも、**高い防犯性が確保され、通行人やメディア等にも注目されるようなトイレにした方が良い**。**人目につくことで防犯性も向上**する。有料トイレにするとといったことも考えられる。公衆トイレを常に綺麗な状態に保つことで、**公衆トイレを地区のメインスポット**にすることも考えられる。

2. 再整備イメージ（案）等について

- ◆事務局提案の空間活用が実現できれば非常に良い。**公衆トイレを廃止するだけで、沿道のビルに自然と良いテナントが入ってくるようなことは絶対にないため、再整備イメージ（案）は地区に変化をもたらすきっかけを作る一つのアイデアとして賛同する**。
- ◆犯罪は周囲から見づらい場所で起こるため、**地区内のデッドスペースを少しでも減らすこと**や児童遊園の南側から北方向、及び北側から南方向の**見通しを良くする**ことが必要。
- ◆**公衆トイレを存続させることが、地区のプランニングを難しくしている**と思う。公衆トイレを廃止する場合のイメージも検討してはどうか。

3. 全体について

- ◆当該地区の問題については、以前から話し合いだけでなかなか進展がない。**問題解決に向けてなんとか前に進んでほしい**。
- ◆物理的な空間の整備だけでなく、**再整備後の空間の維持管理や運営等も非常に重要**である。
- ◆子供が少なく高齢者が多いという地区の状況を踏まえると、「児童遊園」ではなく「シニアパーク」となるのではないか。シニア世代の人達も集まるような**コミュニケーションのための「広場」ということもキーワードの1つにしてほしい**。

◎ご質問・ご意見等、随時受付けておりますので、下記までご連絡ください。

連絡先：港区麻布地区総合支所 まちづくり課 まちづくり係（担当：中村・山口・渡辺・近藤）

[TEL] 03-5114-8815 [FAX] 03-3585-3276